2015 年 5 月 21 日

『農業史研究』第 49 号の修正について

「農業史研究」編集委員会
編集委員長　佐藤正志

2015 年 3 月に『農業史研究』第 49 号を発刊し、その一部を 3 月 27 日の農業史学会大会参加者等に配布いたしました。その後、本誌掲載の論文「帝国日本における青島肉・朝鮮牛の受容」（執筆者：野間万里子）末尾の「引用文献」が遺漏していることが分かりました。

執筆者が編集委員会に対して入稿した時点では、原稿に「引用文献」が付されておりました。その原稿をもって編集委員会が審査を行い、「掲載可」の評価をいたしました。その後、印刷所へ入稿する時点で「引用文献」が遺漏しておりました。編集委員の最終校正を経てもなお、それに気づかないまま刊行に至ってしまった次第です。

学術論文における「引用文献」の重要性に鑑みて、理事会の承認の上、当該部分を修正して本誌を再度印刷いたしました。学会大会時に本誌をお渡しした会員には、既に封書で修正版をお送りしております。旧版は回収しませんので、お手数ですが各自で処分していただくようお願いします。大会に参加されなかった会員には修正版をお送りいたしました。それ以外の方で『農業史研究』第 49 号をお持ちの方は 22 頁をご確認ください。「引用文献」が遺漏している場合には、修正版を郵送いたします。日本農業史学会事務局までお名前とご住所をご連絡下さいますようお願い申し上げます。学会大会参加時に本誌を受領された方のなかでまだ修正版がお手元に届いていない方がいらっしゃいましたら、同様に事務局までご連絡をお願いいたします。